

分野	科目名		配当年次	開講期
専門分野	老年看護学方法論Ⅱ		2年次	前期
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (30時間)	30時間	菅谷清美	有	
授業の概要	高齢者に多い疾患や症状について理解し、高齢者1人1人のもてる力を見極めながら1人1人の高齢者が最善の生を生きることができるよう援助方法を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期における疾病の特徴について理解できる。 2. 老年期の主要症状とその看護について理解できる。 3. 老年期の主要疾患とその看護について理解できる。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	老化について:「老化、老年症候群、サルコペニア、フレイル」	講義	
	2	廃用症候群を予防する	講義	
	3	老年期における疾病の特徴、高齢者の薬物療法	講義	
	4	摂食嚥下障害のある患者の看護:「嚥下のメカニズム」	講義	
	5	摂食嚥下障害のある患者の看護:「アセスメント・看護」	講義・演習	
	6	脱水に対する援助:「脱水とは、高齢者の脱水の特徴」	講義・GW	CBL
	7	脱水に対する援助:「高齢者の体液バランス・看護」	GW	CBL
	8	せん妄状態に対する看護:「せん妄のアセスメント」	講義	
	9	せん妄の看護:「せん妄の発症要因」	講義・GW	
	10	せん妄の看護:「せん妄予防、せん妄の看護」	GW	
	11	認知症患者の看護:「認知症とは」「認知症の治療」	講義	
	12	認知症患者の看護:「認知症の症状」「看護」	講義	
	13	認知症患者の方へのコミュニケーション	講義・演習	
	14	高齢者のエンド・オブ・ライフケア:食べられなくなった時にどうするか「生きることを支える」	講義	
	15	意思決定(ACP)への支援	講義	
評価	筆記試験 100点			
参考文献	<ol style="list-style-type: none"> 1) 村田久行:せん妄,日本評論社,2014. 2) 本田美和子,イブ・ジネスト:ユマニチュード,医学書院,2014. 3) クリスティーン・ボーデン:私は誰になっていくの,かもがわ出版. 4) 迫田綾子:ポジショニングと食事ケア,三輪書店,2013. 			
備考				